

ここで加藤先生の講演会を終わりにさせていただきたいと思います。どうもあらためましてどうも、ありがとうございました。

加藤博先生——業績——

1976年

- ・「中世エジプトの貨幣政策」『一橋論叢』76巻6号、107-115頁、【論文】
- ・Abraham L. Udovitch, *Partnership and Profit in Medieval Islam*, 『オリエント』19巻2号、152-156頁、【書評】

1977年

- ・「貨幣史からみた後期中世エジプト社会—E・アシュートルの中世エジプト物価史研究に寄せて」『社会経済史』43巻1号、73-88頁、【論文】
- ・「マクシム・ロダンソン『イスラーム教と資本主義』」『アジア研究』24巻1号、79-84頁、【書評】

1980年

- ・「19世紀エジプト土地制度史研究—学界事情と資料紹介」『一橋論叢』84巻6号、31-47頁、【論文】
- ・「19世紀前半のエジプト土地・税制度」一橋大学地中海研究会編『論文集・地中海地域における集落形成の諸問題』67-78頁、【論文】
- ・「19世紀後半のエジプト土地・税制度」『オリエント』23巻1号、1-22頁、【論文】
- ・“Egyptian Village Community under Muhammad ‘Ali’s Rule: An Annotation of ‘Qānūn al-Filāha’,” *Orient*, vol. xvi, pp.183-222、【論文】

1981年

- ・「カフル・シュブラフール村の村方騒動—19世紀エジプトにおける私的土地所有権の確立とイズバ農民」『東洋文化研究所紀要』87冊、51-116頁、【論文】

1982年

- ・「エジプトにおける私的土地所有権の確立」『東洋文化研究所紀要』91冊、1-179頁、【論文】
- ・「19世紀中葉におけるエジプト灌漑行政」『一橋論叢』88巻5号、61-78頁、【論文】
- ・「エジプト農村社会における村落有力者層—Leonard BinderのSecond Stratum論をめぐって」『オリエント』24巻2号、79-95頁、【論文】
- ・“A Riot in the Village of ‘Kafr Shubrahūr’: A Case Study on the Impact of the Establishment of Private Land Ownership on Peasants in 19th Century Egypt,” *The Mediterranean Studies Research Group ed., Population Mobility in the Mediterranean World: Studies in the Historical and Contemporary Aspects.* Hitotsubashi University, pp.165-181、【論文】

1983年

- ・「近代エジプト農村社会研究のためのノート」『東洋文化』63号、211-236頁、【論文】

1984年

- ・「1863年公布二勅令にみる19世紀中葉エジプト農民の土地喪失過程」一橋大学地中海研究会編『地中海論集IX』、187-208頁、【論文】

1985年

- ・「エジプト近代史研究動向—オラービー運動研究を題材として」『オリエント』27巻2号、108-117頁、【論文】

1986年

- ・「アブー・スィネータ村醜聞—19世紀中葉エジプト・村落有力者層の権力基盤—」『東洋文化研究所紀要』99冊、153-245頁、【論文】
- ・「19世紀中葉エジプトにおける税制度—その1.不動産賃貸借税」『イスラム世界』25-26号、70-102頁、【論文】
- ・「1863年公布二勅令にみる19世紀中葉エジプト農民の土地喪失過程(続)」一橋大学地中海研究会編『地中海論集X』、193-222頁、【論文】
- ・マフムード・アブデル=ファディール著「産油国への労働移動とインフォーマル・セクター」鈴木弘明編『エジプト経済と労働移動』アジア経済研究所、197-213頁、【翻訳】

1987年

- ・「19世紀中葉エジプトにおける税制度—その2.通行・市場税」『東洋文化研究所紀要』103冊、1-69頁、【論文】
- ・「エジプト現代史」『国際大学中東研究所年報・現代中東の知的世界』創刊号、4-14頁、【論文】
- ・「エジプト・オラービー運動に関する覚書—軍隊・農民・立憲運動」『歴史評論』452号、49-59頁、【論文】
- ・「19世紀中葉エジプトにおけるさまざまな土地範疇—リズカ地について」『一橋論叢』98巻6号、157-174頁、【論文】
- ・「ヨーロッパとイスラム—ムハンマド・アブドゥ、ガブリエル・アノトー論争」東洋大学100周年記念論文集2『近代日本文化の歴史と論理』、123-198頁、【翻訳】

1988年

- ・「エジプト農村史研究序説—聞き取り『カフル・シュブラフール村の村方運動』」『アブー・スィネータ村醜聞』『東洋文化研究所紀要』106冊、269-338頁、【論文】
- ・“Liquidity and Publicity in Urban Society in the Middle of Nineteenth Century in Egypt: As Reflected in Some Unpublished Documents in Relation to the Rent Tax on Real Properties,” *The Mediterranean Studies Research Group ed., Studies in the Mediterranean World. Past and Present XI*, Hitotsubashi University, pp.43-59、【論文】
- ・クロード・カーエン著『比較社会経済史—イスラム・ビザンツ・西ヨーロッパ』(渡辺金一との共訳)歴史学叢書、創文社、135+14頁、【翻訳】

1989年

- ・「19世紀中葉エジプトにおける税制度—その3. 土地税」『東洋文化研究所紀要』109冊、35-107頁、【論文】
- ・「国民軍の編成と遊牧民反乱—エジプト近代史における陰画としての遊牧民」一橋大学地中海研究会編『地中海論集 XII』、11-20頁、【論文】
- ・“Urban and Rural Societies in Mid-19th Century Egypt: As Reflected in Some Unpublished Documents Relating to Taxation Systems,” *The Proceedings of International Conference on Urbanism in Islam*, vol.3, The Middle Eastern Culture Center, Tokyo, pp.247–272、【論文】

1990年

- ・“Nomads and Farmers in the Process of the Modernization of Egypt,” *Orient*, vol. XXVI, pp.78–85、【論文】
- ・「近代エジプト農民運動についての覚書—農民運動からみた近代エジプト社会の変容過程」長沢栄治編『東アラブ社会変容の構図』アジア経済研究所、261–297頁、【論文】
- ・「エジプト農民の権力観」<シリーズ世界史への問い 第6巻>『民衆文化』岩波書店、75–99頁、【論文】
- ・「エジプトにおける「国家」と「社会」—「市」にみる「権力」と「交換」」『創文』307号、1–5頁、【エッセイ・その他】

1991年

- ・「情報と中東イスラーム世界」『一橋論叢』106巻4号、33–52頁、【論文】
- ・アリー・バラカート著『近代エジプトにおける農民反乱—近代エジプト社会史研究入門』（長沢栄治との共訳）アジア経済研究所、x+200頁、【翻訳】
- ・「N・J・ブラウン著『近代エジプトにおける農民の政治戦略—国家との闘争』」『アジア経済』32巻5号、89–93頁、【書評】

1992年

- ・“The Data on Periodical (Weekly) Market at the End of the 19th Century in Egypt: The Cases of Qaliubiya, Sharqiya, and Daqahliya Provinces,” The Mediterranean Studies Research Group ed., *Mediterranean World XIII*. Hitotsubashi University, pp.79–114、【論文】
- ・「エジプトにおける「民族」と「国民国家」」『歴史学研究』633号、13–25頁、【論文】
- ・「「徴兵免除」嘆願文書にみる19世紀中葉エジプトの農村社会」『東洋史研究』51巻2号、77–99頁、【論文】

1993年

- ・『私的土地所有権とエジプト社会』創文社、xxxiii+668+35頁、【単著】
- ・『地域からの世界史—8 西アジア<下>』（永田雄三との共著）朝日新聞社、232頁、【共編著】
- ・『イスラームの世界史② パクス・イスラミカの世紀』（鈴木董他との共著）講談社（現代新書）、273頁、【共編著】
- ・『イスラームの世界史③ イスラーム復興はなるか』（坂本勉他との共著）講談社（現代新書）、270頁、【共編著】

- ・「近代エジプトの遊牧民—「オマル・マスリーの反乱」聞き取り調査ノート」『一橋論叢』110 巻 4 号、13-28 頁、【論文】
- ・「エジプトにおける社会経済変動と空間編成の変容—近代エジプト「定期市」研究序説」伊能武次編『中東諸国における政治経済変動の諸相』アジア経済研究所、75-124 頁、【論文】

1994 年

- ・「地域世界と国民国家 アラブ」歴史学研究会編『国民国家を問う』青木書店、87-104 頁、【論文】
- ・「『エジプトのテロ事情』—歴史学的想像力」『創文』351 号、20-24 頁、【エッセイ・その他】

1995 年

- ・『文明としてのイスラム—多元的社会叙述の試み』東京大学出版会、248+28 頁、【単著】
- ・「イスラム政治における公正と秩序—中心なき政治原理」『一橋論叢』114 巻 4 号、18-30 頁、【論文】
- ・「民族・国家・地域—「ナイル峡谷」の概念をめぐって」『中東の民族と民族主義—資料と分析視角』所内資料(地域研究部 No.6-3) アジア経済研究所、41-49 頁、【論文】
- ・「オスマン帝国の「近代化」—アラブ世界を中心に」歴史学研究会編『講座世界史 3 民族と国家—自覚と抵抗』東京大学出版会、201-231 頁、【論文】
- ・“The Egyptian Rural Society in the Mid-Nineteenth Century as Reflected in the Document on Petition for the Exemption from Military Service,” The Mediterranean Studies Research Group ed., *Mediterranean World XIV*. Hitotsubashi University, pp.59-70、【論文】

1996 年

- ・「近代エジプトにおけるギリシア人とシリア人—エジプトの少数集団に関する覚書」『一橋論叢』116 巻 4 号、112-129 頁、【論文】

1997 年

- ・『イスラーム世界の危機と改革』(世界史リブレット (37)) 山川出版社、90 頁、【単著】
- ・『アブー・スィネータ村の醜聞—裁判文書からみたエジプトの村社会』創文社、240+23 頁、【単著】
- ・「「市場社会」としてのイスラム社会」『社会経済史学』63 巻 2 号、81-100 頁、【論文】
- ・「遊牧民 Minority or Vagabond?—近代エジプトにおける国家と遊牧民」『上智アジア学』14 号、61-73 頁、【論文】
- ・「砂漠に消えた「革命」—近代エジプトの遊牧民「革命」」『地域研究論集』1 巻 1 号、110-129 頁、【論文】
- ・「日常性あるいは醜聞の歴史学—『アブー・スィネータ村の醜聞』刊行に寄せて」『創文』394 号、6-10 頁、【エッセイ・その他】
- ・「エジプト地域研究法」藤原健藏編『地域研究法』(総観地理学講座 2 巻)、朝倉書店、54-58 頁、【論文】

1998 年

- ・“Alexandrian Melancholy: The Light and Shadow of the Modern Mediterranean World,” The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XV*. Hitotsubashi University, pp.99-123、【論文】
- ・「『賈金』からみた中世イスラム世界の貨幣事情」『歴史学研究』711 号、72-78 頁、【論文】

- ・「[周縁]からみた近代エジプト—空間と歴史認識をめぐる—考察」樺山紘一ほか編『イスラーム世界とアフリカ—18世紀末—20世紀初』(岩波講座 世界歴史 21巻)岩波書店、169-188頁、【論文】
- ・「イスラーム世界における血の紐帯と社会秩序—エジプト農村社会を事例に」比較法史学会編『歴史創造の事理と法理』(比較法史研究—思想・制度・社会 ⑦)未来社、65-84頁、【論文】

1999年

- ・『イスラーム世界の常識と非常識』淡交社、239頁、【単著】
- ・「“Old Wine, New Bottle” or “Old Wine, Old Bottle”?」(岡野内正「経済学と日本の中東研究」をめぐって)『日本中東学会年報』14号、275-284頁、【論文】
- ・「[序]、「アレクサンドリアの憂愁—近代地中海世界の光と影」歴史学研究会編『地中海世界史3 ネットワークのなかの地中海』青木書店、13-28頁、202-229頁、【論文】

2000年

- ・「イスラーム世界における血の紐帯と社会秩序—エジプト農村社会を事例に」歴史学研究会編『紛争と訴訟の文化史』(シリーズ歴史学の現在 2)青木書店、135-163頁、【論文】
- ・「イスラーム社会における法と経済—所有システムの観点から」法文化学会編『混沌のなかの所有』(法文化叢書①—歴史・比較・情報)国際書院、143-164頁、【論文】

2001年

- ・『イスラーム世界の常識と非常識』(韓国語訳) Godo Publishing Co., Korea、250頁、【単著】
- ・“The Bedouin in Egyptian National Identity: Minority or Vagabond?,” Usuki Akira (ed.) *State Formation and Ethnic Relations in the Middle East, JCAS Symposium Series 5*. The Japan Center for Area Studies (JCAS), National Museum of Ethnology, Osaka, Japan, pp.173-185、【論文】
- ・“Blood Linkage and Social Order in Egyptian Village Society,” The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XVI*. Hitotsubashi University, Tokyo, pp.1-14、【論文】
- ・「多元的歴史叙述をめざして」『民博通信』no.93、113-120頁、【論文】
- ・R. Owen and S. Pamuk, *A History of Middle East Economies in the Twentieth Century*, 『アジア経済』42巻1号、87-91頁、【書評】

2002年

- ・『イスラーム世界論—トリックスターとしての神』東京大学出版会、227+23頁、【単著】
- ・「イスラームと開発」『国際協力研究』18巻1号、1-7頁、【論文】
- ・「地域研究への誘い—地中海世界を材料に」『一橋論叢』127巻4号、53-67頁、【論文】
- ・「イスラーム史は何を明らかにしたか」『歴史評論』630号、52-62頁、【論文】
- ・「近代のアラブ社会」佐藤次高編『西アジア史 I アラブ』(新版世界各国史 8)山川出版社、395-451頁、【論文】
- ・「世界経済史におけるイスラームの位置」社会経済史学会編『社会経済史学の課題と展望』(社会経済史学会創立70周年記念)、157-169頁、【論文】
- ・「中沢新一『緑の資本論』」『歴史学研究』769号、54-55頁、【書評】
- ・「E・W・サイド『戦争とプロパガンダ』」『戦争とプロパガンダ 2—パレスチナは、いま』『歴史

学研究』769号、56-57頁、【書評】

2003年

- ・「近代イスラームにとってのヨーロッパ」『ヨーロッパとは何か』(別冊 環 5) 藤原書店、260-267頁、【論文】
- ・“Islam and Development,” *Technology and Development*. JICA, No. 16, pp.5-9、【論文】
- ・「エジプトにおける「近代統計」と国民国家形成」『現代の中東』34号、2-18頁、【論文】
- ・「イスラーム世界における「会社」—なぜイスラーム世界は資本主義化に乗り遅れたのか」『大航海(特集 会社とは何か?)』48号、新書館、176-185頁、【論文】
- ・“Attempt of linking two approaches: Household Survey & GIS-Migration to the Greater Cairo,” (アリ・エルシャズリ、岩崎えり奈、後藤寛と共著)『地理情報システム学会講演論文集』第12号、111-114頁、【論文】
- ・「タージルとウラマー—都市に生きる人々」、「ダウラー—国民国家の希望と挫折」佐藤次高編『キーワードで読むイスラーム—歴史と現在』7、8章、山川出版社、115-135頁、136-156頁、【論文】
- ・「経済学とイスラーム地域研究」佐藤次高編『イスラーム地域研究の可能性』(イスラーム地域研究叢書①) 東京大学出版会、101-132頁、【論文】
- ・「ライラ・アハメド著、(林正雄ほか訳)『イスラームにおける女性とジェンダー—近代論争の歴史的根源』」『社会経済史学』69巻3号、2003年、125-127頁、【書評】
- ・「黒田明伸著『貨幣システムの世界史—〈非対称性〉をよむ』」『史学雑誌』112編9号、98-104頁、【論文】
- ・「モデルとしての「イスラーム世界」—「イスラーム世界論」の今後」『UP』364号、1-5頁、【エッセイ・その他】
- ・「対談:国際社会に何が起きているのか」中東調査会編『イラク問題と日本人』明石書店、11-30頁、【エッセイ・その他】
- ・「21世紀の世界史的な位置づけ」猪口孝編『今われわれが踏み込みつつある世界は…2000-2050』藤原書店、132-146頁、192-197頁、【エッセイ・その他】

2004年

- ・“Internal Migration Patterns to Greater Cairo-Linking Three Kinds of Data: Census, Household Survey, and GIS,” (アリ・エルシャズリ、岩崎えり奈と共著) The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XVII*. Hitotsubashi University, Tokyo, pp.173-212 +40、【論文】
- ・“A Historical Study of the Market Society: Reflected in the Waqf System in Muslim Societies,” *AJAMES*(日本中東学会年報)、20-1号、47-63頁、【論文】
- ・「イスラーム市場社会の歴史的構造」三浦徹ほか編『比較史のアジア 所有・契約・市場・公正』(イスラーム地域研究叢書④) 東京大学出版会、183-206頁、【論文】
- ・「ファラーティー (falati) 考—19世紀後半エジプトの「浮浪者」(mutasharriid)」三笠宮殿下米寿記念刊行会編『三笠宮殿下米寿記念論集』刀水書房、204-217頁、【論文】

2005年

- ・『イスラーム世界の経済史』NTT出版、264+19頁、【単著】

- ・「エジプトにおけるマイグレーションと地域類型—三種類のデータ(センサス統計・世帯調査データ・地理情報)を接合する試み」(岩崎えり奈と共著)『東洋文化研究所紀要』第147冊、1-65頁、【論文】
- ・「文明化と暴力—アラブ世界」山内進・加藤博・新田一郎編『暴力—比較文明的考察』東京大学出版会、165-188頁、【論文】
- ・「イスラーム世界の女性—「言説」と「実態」の狭間で」加藤博編『イスラームの性と文化』(イスラーム地域研究叢書⑥)東京大学出版会、3-21頁、【論文】
- ・“Migration, Regional Diversity, and Residential Development on the Edge of Greater Cairo: Linking Three Kinds of Data — Census, Household-Survey and Geographical Data — with GIS,” (with Erina Iwasaki, Ali ELshazly, and Yutaka Goto), Atsuyuki Okabe(ed.), *GIS-Based Studies in the Humanities and Social Sciences*, Taylor & Francis, Oxford, 2005, pp.191-209、【論文】
- ・「現代文明批判の手段としての「イスラーム世界」—羽田正『イスラーム世界の創造』に触発されて」『UP』396号、31-37頁、【エッセイ・その他】

2006年

- ・『「イスラーム vs. 西欧」の近代』講談社現代新書、205頁、【単著】
- ・「イスラーム社会にニートはいるか？」『大航海(特集 ニート—転換する現代文明)』58号、新書館、136-141頁、【論文】
- ・“Cairo and Alexandria at the Beginning of the 20th Century: An Analysis Based on Population and Education Censuses for 1907/8,”(with Erina Iwasaki), The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XVIII*, Hitotsubashi University, Tokyo, pp. 323-368、【論文】
- ・“Residential Patterns of Rural Migrants in Greater Cairo Suburban Areas,” (with Erina Iwasaki and Naoto Yabe), *AJAMES* (日本中東学会年報) 22-2号、105-123頁、【論文】
- ・「イスラーム復興とイスラーム金融」『創文』493号、6-10頁、【エッセイ・その他】

2007年

- ・「イスラームの経済思想」八木紀一郎編『経済思想 11 非西欧圏の経済学—土着・伝統的経済思想とその変容』日本経済評論社、259-299頁、【論文】

2008年

- ・『ナイル—地域をつむぐ川』(世界史の鏡：地域7)刀水書房、163+6頁、【単著】
- ・“Is the Egyptian Village a ‘Community’?,” *International Journal of Public Affairs*. vol. 4, Research Center on Public Affairs for Sustainable welfare Society, Chiba University, pp. 5-26、【論文】
- ・「砂漠に消えた「革命」(2)—掘り起こされる近代エジプトの遊牧民「革命」」『東洋文化研究所紀要』第153冊、71-124頁、【論文】
- ・“Rashda. A village in Dakhla Oasis, Egypt,” (with Erina Iwasaki), The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XIX*, pp.1-55、【論文】
- ・「文科省ニーズ対応型地域研究推進事業「アジアのなかの中東—経済と法を中心に」」『世界史の研究 214』(歴史と地理 No.611)、山川出版社、54-58頁、【エッセイ・その他】

2009年

- ・「イスラムと文明化」『比較文明』第25号、39-54頁、【論文】

2010年

- ・『イスラム経済論—イスラムの経済倫理』書籍工房早山、238頁、【単著】
- ・「エジプト農村における「家族」(アーイラ)—19世紀中葉オアシス村落に関する住民登録文書に基づいて」『東洋文化研究所紀要』第157冊、83-120頁、【論文】
- ・“Village Association in Cairo: A Study on Urban-Rural Relationship in Egypt,” (with Erina Iwasaki), *Annals of Japan Association for Middle East Studies (AJAMES)*, no. 26-1, pp. 1-40、【論文】
- ・“Rashda: System of Irrigation and Cultivation in a Village in Dakhla Oasis,” (with Erina Iwasaki, Eiji Nagasawa, Hisao Anyoji, Nobuhiro Matsuoka and Reiji Kimura), The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XX*, Hitotsubashi University, Tokyo, pp.1-45、【論文】
- ・「ナイルをめぐる神話と歴史」水島司編『環境と歴史学—歴史研究の新天地』勉誠出版、113-123頁、【論文】

2011年

- ・「エジプト農村の世帯・家族構造」(岩崎えり奈と共著)『東洋文化研究所紀要』159冊、155-188頁、【論文】
- ・「エジプトの村落地図」(岩崎えり奈と共著)『一橋経済学』4巻1号、131-172頁、【論文】

2012年

- ・『世界地名大事典 中東・アフリカ』(島田周平との共編著)朝倉書店、【共編著】
- ・「エジプトの村は「共同体」か？」柳澤悠・栗田禎子編著『アジア・中東—共同体・環境・現代の貧困』勁草書房、97-122頁、【論文】
- ・「空間編成からみたアンマン都市社会：2008年アンマン世帯調査報告」Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series 272, (白杵悠、岩崎えり奈と共著), Hitotsubashi University、【論文】
- ・「ブヘイラ地方をめぐる学際的地域研究—シーディー・オクバ村周辺地域を事例に」長谷部史彦編『ナイル・デルタの環境と文明 I』早稲田大学イスラーム地域研究機構、21-41頁、【論文】
- ・“The Monetary History of the East Mediterranean in the Middle Ages as Judged from Imitated Coins,” (with Michiya Nishimura), The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XXI*, Hitotsubashi University, Tokyo, pp.3-20、【論文】
- ・“Reconsidering al-Maqrīzī’s View on Money in Medieval Egypt,” The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XXI*, Hitotsubashi University, Tokyo, pp.33-44、【論文】
- ・“Land Use Change and Crop Rotation in Rashda Village, Dakhla Oasis, Egypt: Analysis of a Government Well District Based on Satellite Data,” (with Reiji Kimura, Salwa F. Elbeih, Erina Iwasaki and El-Sayed A. Zaghoul), The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XXI*, Hitotsubashi University, Tokyo, pp.235-266、【論文】
- ・“Land Use Change and Crop Rotation Analysis of a Government Well District in Rashda Village, Dakhla Oasis, Egypt based on Satellite Data,” (with R. Kimura, S.F. Elbeih, E. Iwasaki and E.A. Zaghoul), *The Egyptian Journal of Remote Sensing and Space Sciences*, vol. 15-2, pp.1-11、【論文】

- ・“Introductory Essay for the Special Feature on New Trends in Japan’s Study of the Middle East: Searching for Roots,”『日本中東学会年報』(AJAMES) 28-2号、51-58頁、【論文】
- ・「長沢栄治『エジプト革命—アラブ世界変動の行方—』(平凡社新書622)『歴史学研究』897号、59-61頁、【書評】

2013年

- ・『ムハンマド・アリー—近代エジプトを築いた開明的君主』(世界史リブレット人067)、山川出版社、88頁、【単著】
- ・『現代アラブ社会—「アラブの春」とエジプト革命』(岩崎えり奈と共著)東洋経済新報社、320+14頁、【単著】
- ・“GIS as a Tool for Researching the Socioeconomic History of Modern Egypt,” (with Hiroomi Tsumura and Erina Iwasaki), *Journal of Asian Network for GIS-based Studies (JANGIS)*, Vol. 1, pp.22-32、【論文】
- ・「ナイルのほほえみと叫び」『季刊民族学』145号、20-25頁、【エッセイ・その他】

2014年

- ・“The Relationship between Groundwater, Landuse, and Demography in Dakhla Oasis, Egypt,”(with Salwa Elbeih, Erina Iwasaki, Ahmed Sefelnasr, Adel Shalaby, and Elsayed Zaghloul), *Journal of Asian Network for GIS-based Studies (JANGIS)*, Vol. 2, pp.3-10、【論文】
- ・「グローバル化とエジプト革命」(岩崎えり奈と共著)『社会学評論』65巻2号、255-269頁、【論文】
- ・「エジプトの早すぎた明治維新—近代エジプトにおける国家と村落」歴史学研究会編『史料から考える世界史20講』岩波書店、100-108頁、【論文】
- ・「エジプト革命のディレンマ—なぜ若者は疎外され、イスラム政党は排除されたのか」(岩崎えり奈と共著)『世界』855号、232-241頁、【論文】
- ・「トルコにおける国民国家形成と人口センサス事業」(穂山祐子と共著)『人文・自然研究』第8号、103-124頁、【論文】
- ・「長沢栄治著『エジプトの自画像—ナイルの思想と地域研究』(平凡社、2013年)』『アジア経済』55巻3号、94-99頁、【書評】
- ・「イスラム世界の魚食事情とハラール認証」『養殖ビジネス』2014・5月号、53-57頁、【エッセイ・その他】
- ・「エジプトを中心とした北アフリカの魚食事情」『養殖ビジネス』2014・10月号、62-64頁、【エッセイ・その他】

2015年

- ・『アジア経済史研究入門』(水島司、久保亨、島田竜登との共編著)名古屋大学出版会、377+10頁、【共編著】
- ・“Réseaux locaux en Egypte: Rôle des associations villageoises au Caire,” (with Erina Iwasaki), The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XXII*, Hitotsubashi University, Tokyo, pp.1-16、【論文】
- ・“The ‘Personality’ of Economic Development in the Delta Region of Egypt in Modern Times: Focus on Buhaira Governorate,” (with Erina Iwasaki), *Journal of Asian Network for GIS-based Studies (JANGIS)*, vol.3, pp.31-37、【論文】

- ・ “Cultivation Features Using Meteorological and Satellite Data from 2001 to 2010 in Dakhla Oasis, Egypt,” (with Reiji Kimura and Erina Iwasaki), *Journal of Water Resource and Protection*, 7, pp.209–218、【論文】

2016年

- ・ *Rashda: The Birth and Growth of an Egyptian Oasis Village.* (with Erina Iwasaki), BRILL, pp. 294+26、【単著】
- ・ 「ナイルをめぐる神話と歴史」水島司編『環境に挑む歴史学』勉誠出版、292–307頁、【論文】
- ・ 「アレクサンドリアー文明の交差する地中海近代都市」羽田正責任編集『地域史と世界史』(MINERVA 世界史叢書1)、ミネルヴァ書房、291–315頁、【論文】
- ・ 「イスラム経済の基本構造」『経済研究所年報』第29号、5–44頁、【論文】
- ・ 「後藤晃編『オアシス社会50年の軌跡—イランの農村、遊牧そして都市—』『社会経済史学』82巻3号、148–150頁、【書評】
- ・ 「栗田禎子『中東革命のゆくえ—現代史のなかの中東・世界・日本—』『歴史学研究』第941号、58–61頁、【書評】
- ・ 「中東研究者のいらだち」長沢栄治・栗田禎子編『中東と日本の針路—「安保法制」がもたらすもの』大月書店、232–233頁、【エッセイ・その他】

2017年

- ・ 『カフル・マー村研究—北西部ヨルダン山村の社会構造とその変容』(岩崎えり奈、北澤義之、臼杵悠吉年誠と共著)SIAS ワーキングペーパー、157頁、【共編著】
- ・ “Alexandria in the Time of Constantine Cavafy (1863–1933),” (with Erina Iwasaki), The Mediterranean Studies Group ed., *Mediterranean World XXIII*, Hitotsubashi University, Tokyo, pp.81–122、【論文】
- ・ 「歴史研究における情報の空間化—エジプト社会経済史研究を事例に」『世界史の研究 251』(歴史と地理 No.704)、1–16頁、【論文】
- ・ “Environment and Development in Modern Egypt: Case Study of the Idku Buhayra Area,” (with Erina Iwasaki), 『上智アジア学』35号、7–39頁、【論文】
- ・ 「エジプト西部砂漠のオアシス村研究をめぐる「出会い」」『FIELD PLUS』17号、28–29頁、【エッセイ・その他】

2018年

- ・ “The Social Transformation of Modern Cairo Compared with Modern Alexandria, Focusing on Migration,” (with Erina Iwasaki), in Hidemitsu Kuroki ed. *Human Mobility and Multiethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies 2*, pp.35–64、【論文】

2019年

- ・ “Categorization of Egyptian Port Cities in 1878,” *Journal of Asian Network for GIS-based Studies (JANGIS)*, vol.5, pp.3–9、【論文】
- ・ “Egypt in the Local and World Economies in the Nineteenth Century,” in the e-book Hiroshi Kato, Liana Lomiento (eds.) *The Mediterranean as a Plaza: Japanese and Italian Insights on the Great Sea*, Cisalpino - Istituto Editoriale Universitario, Milano, pp.135–150、【論文】